

**平成27年度
大田原市教育委員会点検評価報告書
(平成26年度事業対象)**

**平成27年9月
大田原市教育委員会**

はじめに

大田原市教育委員会は、教育行政基本方針において重点施策・重点目標等を掲げ、各種事務事業を執行しています。

また、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、結果に関する報告書を作成し、大田原市議会に提出するとともに、市広報・ホームページにおいて公表しています。

この報告書は、効果的な教育行政の推進に資するため、教育委員会の権限に属する事務事業の執行状況について、大田原市教育委員会評価委員会委員による点検及び評価を取りまとめたものです。

当教育委員会は、この報告書を基にして、市民の皆様に対する説明責任を果たし、今後の事務事業執行の改善を図り、家庭、地域と教育委員会が一体となった望ましい教育環境づくりに努めてまいりたいと考えています。

平成27年9月

大田原市教育委員会

目 次

I	点検及び評価について	1
1	目的	
2	点検・評価の方法	
3	点検・評価の構成	
II	事務事業執行状況の点検及び評価	
1	生涯学習の充実	
	(1) 市民憲章推進事業	2
	(2) 図書館管理運営事業	4
2	学校教育の充実	
	(1) 学校給食センター運営事業	6
	(2) ICT支援員派遣業務委託事業	8
3	文化・芸術の振興	
	○那須与一伝承館管理運営事業	10
4	スポーツ・レクリエーションの振興	
	○美原公園管理事業	12

I 点検及び評価について

1 目的

市教育委員会は、毎年、主要な施策や事務事業の取り組みについて点検及び評価を行い、課題や取り組みの方向性を明らかにすることにより、教育行政を効率的に進めるとともに、市民への説明責任を果たし、市民に信頼される教育行政を推進することを目的とします。

2 点検・評価の方法

新大田原レインボープランの基本政策に基づき実施されている主要施策を対象とし、点検・評価を行いました。

点検・評価の客観性を確保するため、教育に関して学識経験を有する方からご意見をいただく評価委員会を設置しています。

なお、評価委員会の委員は、次のとおりです。

- | | |
|------------|--------------|
| ○高 信 洋 一 氏 | (元中学校長) |
| ○中 澤 千 明 氏 | (元市職員) |
| ○室 井 祐 之 氏 | (市区長連絡協議会会長) |

3 点検・評価の構成

(1) 事務事業の基本的事項

新大田原レインボープランの基本政策や教育行政基本方針の重点施策、重点項目に即した施策・事業ごとに点検評価を行いました。

(2) 事務事業の目的・内容

主な施策や事業名を掲げています。

(3) 実施目標と実績

平成26年度に実施した事業内容、実施状況や課題を示しています。

(4) 事務事業の評価

- ① 担当課による評価と課題の抽出
- ② 評価委員の事業に対する意見
- ③ 今後の事業の方向性

II 事務事業執行状況の点検及び評価

1 事務事業の基本的事項			事業番号	1 (1)
事務事業名	市民憲章推進事業	担当課・係	生涯学習課 公民館係	
レインボープランの位置づけ	政策：1. 明日に伝える文化と学びのまちへ 施策：1. 生涯学習の推進 施策の展開：2. 生涯学習活動の支援			
制度区分	<input type="checkbox"/> ：補助（国・県） <input checked="" type="checkbox"/> ：市単独 <input type="checkbox"/> ：その他			

2 事務事業の目的・内容

目的	緑と光とやすらぎのある平和な住みよいまちづくりを基本に、市民憲章の具現化をはかりながら、市民一人ひとりが市民憲章を深く理解し、明るく住みよいまちづくりと精神の高揚を図ることを目的とする。						
対象者	市議会議員、教育委員、自治公民館長、小中学校長、PTA 会長、各地区区長会長等						
事業内容	市民憲章推進協議会の開催、市民憲章推進大会の開催、市民憲章具現化のための事業（花いっぱい運動の展開）						
事業費 (単位：千円)	年度 項目	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
	予算額 (決算ベース)	3,014	2,930	2,948	3,623	3,743	
	決算額	2,665	2,728	2,777	3,303		

3 実施目標と実績

目標とする項目	区分	24年度	25年度	26年度	結果のコメント
市民憲章に関する作文の表彰	目標値	市内小中学校 32校	市内小中学校 29校	市内小中学校 29校	小学生の部 最優秀賞 1点 優秀賞 7点
	実績	市内小中学校 32校	市内小中学校 29校	市内小中学校 29校	中学生の部 最優秀賞 1点 優秀賞 4点
	達成率%	100	100	100	
花いっぱいコンクールの参加・表彰	目標値	168 自治公民館	168 自治公民館	168 自治公民館	刀ポットの部 最優秀賞 2点
	実績	168 自治公民館	168 自治公民館	168 自治公民館	花壇の部 最優秀賞 1点 優秀賞 3点 優良賞 7点
	達成率%	100	100	100	
	目標値				刀ポットの部 最優秀賞 1点 優秀賞 1点 優良賞 4点
	実績				
	達成率%				

4 事務事業の評価

評価項目		評価	評価基準	評価に対するコメント
必要性	市が担うべき事業か	10	<input checked="" type="checkbox"/> 10 高い <input type="checkbox"/> 7 やや高い <input type="checkbox"/> 4 やや低い <input type="checkbox"/> 1 低い	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生から募集する市民憲章に関する作文の表彰及び発表、また、地域住民が連携して活動する花いっぱい運動も市民憲章の具現化のためには、欠かせない事業である。
妥当性	活動手段は適正か	10	<input checked="" type="checkbox"/> 10 高い <input type="checkbox"/> 7 やや高い <input type="checkbox"/> 4 やや低い <input type="checkbox"/> 1 低い	<ul style="list-style-type: none"> ・花いっぱい運動でコンクールを実施することにより地域住民の協働が期待できる。 ・小中学生に作文の募集をすることで、小中学生のみならず、その保護者にも市民憲章を意識してもらうことができる。
効率性	手法が効率的か	7	<input type="checkbox"/> 10 高い <input checked="" type="checkbox"/> 7 やや高い <input type="checkbox"/> 4 やや低い <input type="checkbox"/> 1 低い	<ul style="list-style-type: none"> ・花苗の配布に合わせてとうがらしの苗も配布したが、希望以上の数を配布したため不評であった。 ・市民憲章推進大会で花いっぱいコンクールの表彰、小中学生の作文の表彰を行うことで、関係者に市民憲章についての関心を深めてもらうことができる。
費用対効果	事業費、物件費、人件費を勘案してどうか	7	<input type="checkbox"/> 10 高い <input checked="" type="checkbox"/> 7 やや高い <input type="checkbox"/> 4 やや低い <input type="checkbox"/> 1 低い	<ul style="list-style-type: none"> ・花いっぱい運動の花苗購入に関して、トウガラシと菜の花の種も追加して予算を多くしたが、不評であったことが残念である。 ・講演会講師の依頼も予算内に実施することができた。
目標達成度	事業の成果は上がっているか	10	<input checked="" type="checkbox"/> 10 高い <input type="checkbox"/> 7 やや高い <input type="checkbox"/> 4 やや低い <input type="checkbox"/> 1 低い	<ul style="list-style-type: none"> ・市民憲章推進大会の表彰式及び講演会に、予定を上回る人の参加があり好評であった。
担当課評価結果		44	A (40点以上) : 継続事業 / B (30 ~ 39点) : 修正継続事業 C (20 ~ 29点) : 見直し事業 / D (19点以下) : 廃止事業	ランク A
課題・評価	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ活動や住民協働の地域づくりなどを通して自治意識を高めることで住民の生涯学習が推進される。また、市民憲章の具現化を実施することは、まちづくり、ひとづくりの一助となることが期待できるので、今後もこれらの活動を充実していきたい。 			
評価委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・事業は意義のあるもので今後も継続しても良いのではないかと。 ・トウガラシについては『花いっぱい運動』にふさわしいとは言えないので実施方法を改善すべきであろう。 ・市民憲章の普及という意味でも、自治会の看板などに市民憲章の一文など入れてはどうか。 ・各事業（作文表彰・花いっぱいコンクール）とも多くの参加者がいるが、今後も引き続き思想の普及・啓発に努められたい。 			
今後の事業の方向性	<input type="checkbox"/> : 充実 <input checked="" type="checkbox"/> : 現状維持 <input type="checkbox"/> : 修正継続 <input type="checkbox"/> : 規模の縮小 <input type="checkbox"/> : 代替事業の検討 <input type="checkbox"/> : 他事業との統合 <input type="checkbox"/> : 業務委託 <input type="checkbox"/> : 廃止			

1 事務事業の基本的事項

1 事務事業の基本的事項			事業番号	1 (2)
事務事業名	図書館管理運営事業	担当課・係	生涯学習課生涯学習係	
レインボープランの位置づけ	政策：1. 明日に伝える文化と学びのまちへ 施策：1. 生涯学習の推進 施策の展開：4. 生涯学習施設の充実			
制度区分	□：補助（国・県） ■：市単独 □：その他			

2 事務事業の目的・内容

目的	生涯学習施設として、資料や情報を収集・整理して、市民各層の知的要求に応える。						
対象者	一般市民、市内在勤・在学者、近隣市町住民						
事業内容	平成22年4月1日から平成27年3月31日までの5年間指定管理者（（株）図書館流通センター）が管理運営を行っている。平成25年12月に大田原図書館がトコトコ大田原に移転。電子図書の貸出をはじめとして新しいサービスの提供に努めている。 市内の小中学校を対象に図書館から司書・ボランティアを派遣し、新着図書の登録・本の修理・整理・廃棄等の手伝いを実施している。						
事業費 (単位：千円)	年度 項目	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
	予算額 (決算ベース)	125,786	118,071	183,653	144,559	140,482	
	決算額	125,643	117,071	168,671	140,869		

3 実施目標と実績

目標とする項目	区分	24年度	25年度	26年度	結果のコメント
図書館入館者数（人）	目標値				トコトコ大田原に大田原図書館が移転し、2年目をむかえたため入館者が増加した。 前年比122%となっている。
	実績	258,003	230,628	282,205	
	達成率%				
延個人貸出利用人数（人）	目標値				トコトコ大田原に大田原図書館が移転したため利用者数が増加した。 前年比118%となっている。
	実績	102,989	85,501	101,053	
	達成率%				
図書館貸出図書資料 (図書、視聴覚)	目標値				貸出点数の数は前年比114%となっている。
	実績	540,292	448,740	512,142	
	達成率%				

4 事務事業の評価

評価項目		評価	評価基準	評価に対するコメント
必要性	市が担うべき事業か	10	<input checked="" type="checkbox"/> 10 高い <input type="checkbox"/> 7 やや高い <input type="checkbox"/> 4 やや低い <input type="checkbox"/> 1 低い	市民の学習意欲が高まり、図書館に対する要求も高度化・多様化している。市民の学習・調査・研究の場として十分機能を発揮するため、あらゆる情報を収集し、資料の充実とサービスに努める必要がある。
妥当性	活動手段は適正か	10	<input checked="" type="checkbox"/> 10 高い <input type="checkbox"/> 7 やや高い <input type="checkbox"/> 4 やや低い <input type="checkbox"/> 1 低い	図書や視聴覚教材の他、法律情報・新聞データベースを導入し、情報の提供に努めている。
効率性	手法が効率的か	10	<input checked="" type="checkbox"/> 10 高い <input type="checkbox"/> 7 やや高い <input type="checkbox"/> 4 やや低い <input type="checkbox"/> 1 低い	パソコンコーナーの設置や予約システムの導入などインターネット社会に対応した図書館運営をしており、効率的である。
費用対効果	事業費、物件費、人件費を勘案してどうか	7	<input type="checkbox"/> 10 高い <input checked="" type="checkbox"/> 7 やや高い <input type="checkbox"/> 4 やや低い <input type="checkbox"/> 1 低い	利用者満足度も高く、指定管理者を導入した効果は大きい。
目標達成度	事業の成果は上がっているか	7	<input type="checkbox"/> 10 高い <input checked="" type="checkbox"/> 7 やや高い <input type="checkbox"/> 4 やや低い <input type="checkbox"/> 1 低い	図書館の移転により、市民の注目度も高く、2階の子ども未来館との相乗効果により新規登録者数が増加している。
担当課評価結果		44	A (40点以上) : 継続事業 / B (39 ~ 30点) : 修正継続事業 C (29 ~ 20点) : 見直し事業 / D (19点以下) : 廃止事業	ランク A
課題・評価	大田原図書館に対する満足度は一応の評価を得ているが、平成27年度からは、開館時間を年間通して午前9時から午後7時までとサービス向上を図ることになった。また、子どもの読書活動推進については、「子どもの読書貯金通帳」の発行により、さらなる推進に努めたい。 黒羽図書館・湯津上庁舎図書室についても新刊本を多く購入することで利用者増を目指したい。			
評価委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・開館閉館時間の改善は、利用者の利便性に配慮しており、高く評価できるものである。 ・ホームページ等を活用した情報発信をさらに充実してほしい。 ・蔵書増加への対策として、文庫本の利用や古い本の処分・リサイクルを積極的に図り、書架の有効利用に努められたい。 ・黒羽図書館、湯津上図書室の利用促進・PRをさらに充実させ、特色ある図書館となるように努められたい。 			
今後の事業の方向性	<input type="checkbox"/> : 充 実 <input checked="" type="checkbox"/> : 現状維持 <input type="checkbox"/> : 修正継続 <input type="checkbox"/> : 規模の縮小 <input type="checkbox"/> : 代替事業の検討 <input type="checkbox"/> : 他事業との統合 <input type="checkbox"/> : 業務委託 <input type="checkbox"/> : 廃 止			

1 事務事業の基本的事項			事業番号	2(1)
事務事業名	学校給食センター運営事業	担当課・係	教育総務課・学校給食センター	
レインボープランの位置づけ	政策：1. 明日に伝える文化と学びのまちへ 施策：2. 学校教育の充実 施策の展開：9. 教育環境の整備・充実			
制度区分	□：補助（国・県） ■：市単独 □：その他			

2 事務事業の目的・内容

目的	共同調理場における衛生管理の徹底及び調理・配送業務の効率化を図り、安全で安心な給食を提供する。						
対象者	黒羽地区小中学校5校 914人 ※教職員を含む 小学校4校 567人（川西小学校、黒羽小学校、須賀川小学校、両郷中央小学校） 中学校1校 347人（黒羽中学校）						
事業内容	黒羽地区内の小中学校に対する給食の調理及び配送業務 学校給食センターの施設及び設備機器の維持管理 学校給食センター運営委員会の開催						
事業費 (単位：千円)	年度 項目	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
	予算額 (決算ベース)	116,595	114,750	109,710	110,402	109,433	
	決算額	116,116	113,694	107,871	108,239		

3 実施目標と実績

目標とする項目	区分	24年度	25年度	26年度	結果のコメント
食中毒を起こさないための衛生管理の徹底	目標値	0件	0件	0件	食中毒の発生は起きていないが、業者が納入しているパンについては、異物混入が数回発生したため、年度途中で業者を変更して提供した。
	実績	0件	0件	0件	
	達成率%	100.00%	100.00%	100.00%	
給食調理・配送業務の完全実施	目標値	201日	200日	199日	給食の実施回数どおりに調理及び配送業務を完全に実施することができた。
	実績	201日	200日	199日	
	達成率%	100.00%	100.00%	100.00%	
衛生管理基準に基づく定期及び日常の衛生検査点検の実施	目標値	7項目	7項目	7項目	今後も引き続き衛生検査点検の実施を徹底して行っていく。
	実績	7項目	7項目	7項目	
	達成率%	100.00%	100.00%	100.00%	

4 事務事業の評価

評価項目		評価	評価基準	評価に対するコメント
必要性	市が担うべき事業か	10	<input checked="" type="checkbox"/> 10 高い <input type="checkbox"/> 7 やや高い <input type="checkbox"/> 4 やや低い <input type="checkbox"/> 1 低い	学校給食は学校給食法第4条の規定に基づき、市が担うべき事業である。
妥当性	活動手段は適正か	4	<input type="checkbox"/> 10 高い <input type="checkbox"/> 7 やや高い <input checked="" type="checkbox"/> 4 やや低い <input type="checkbox"/> 1 低い	学校給食センターからの距離が遠い学校に対しては、給食を出来立ての食味を損なわずに提供することが困難である。
効率性	手法が効率的か	7	<input type="checkbox"/> 10 高い <input checked="" type="checkbox"/> 7 やや高い <input type="checkbox"/> 4 やや低い <input type="checkbox"/> 1 低い	5校に提供する給食の調理を共同調理場に集約して行うことは手法として効率的であるが、学校給食センターのキャパシティを考慮すると、施設の機能を十分に果たしていないと思われる。
費用対効果	事業費、物件費、人件費を勘案してどうか	4	<input type="checkbox"/> 10 高い <input type="checkbox"/> 7 やや高い <input checked="" type="checkbox"/> 4 やや低い <input type="checkbox"/> 1 低い	コストを削減するため、設備器具を効率の良いものに更新し、燃料代、電気代等のランニングコストの部分で効率化を図る必要がある。
目標達成度	事業の成果は上がっているか	7	<input type="checkbox"/> 10 高い <input checked="" type="checkbox"/> 7 やや高い <input type="checkbox"/> 4 やや低い <input type="checkbox"/> 1 低い	衛生管理の徹底、調理・配送業務の効率化は達成されている。
担当課評価結果		32	A (40点以上) : 継続事業 / B (39 ~ 30点) : 修正継続事業 C (29 ~ 20点) : 見直し事業 / D (19点以下) : 廃止事業	ランク B
課題・評価	約1,600食を供給できる施設でありながら、児童生徒の減少により現在は約1,000食弱とその能力を十分に果たしていないと思われる。近隣の小中学校まで範囲を広げられるか検討に着手したい。			
評価委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・適温給食が提供できるような体制づくりに努められたい。 ・自校方式と比較すると非常に効率的であるので、配送業務について検討の余地が十分であろう。 ・黒羽給食センターのみならず、今後の少子化による児童生徒数の減少も考慮に入れながら、自校方式で実施している現行制度のあり方についてもセンター方式や親子方式など余剰施設の有効利用による柔軟な対応を今後検討してはどうか。 			
今後の事業の方向性	<input type="checkbox"/> : 充実 <input type="checkbox"/> : 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> : 修正継続 <input type="checkbox"/> : 規模の縮小 <input type="checkbox"/> : 代替事業の検討 <input type="checkbox"/> : 他事業との統合 <input type="checkbox"/> : 業務委託 <input type="checkbox"/> : 廃止			

1 事務事業の基本的事項

1 事務事業の基本的事項			事業番号	2 (2)
事務事業名	ICT 支援員派遣業務委託事業	担当課・係	学校教育課 庶務係	
レインボープランの位置づけ	政策：1. 明日に伝える文化と学びのまちへ 施策：2. 学校教育の充実 施策の展開：9. 教育環境の整備・充実			
制度区分	<input type="checkbox"/> ：補助（国・県） <input checked="" type="checkbox"/> ：市単独 <input type="checkbox"/> ：その他			

2 事務事業の目的・内容

目的	小中学校教育課程による情報教育の拡充・推進を図り、高度化する情報化社会に対応しうる能力を児童生徒に習得させ、市内小中学校に配備したタブレット端末を使用しての学習環境を良好なものとする。						
対象者	市内全小中学校						
事業内容	タブレット端末を使用しての学習に対応するため、ICT支援員を民間委託で派遣し定期的に学校を訪問し、ソフト使用時の支援はもとより、不慣れな指導教諭への手助けを行う。						
事業費 (単位：千円)	年度 項目	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
	予算額 (決算ベース)				9,559	19,764	
	決算額				8,684		

3 実施目標と実績

目標とする項目	区分	24年度	25年度	26年度	結果のコメント
ICT 支援員の各学校への派遣時間	目標値(時間)			3,900	目標値を超える支援員制度の活用があったが、学校ごとの派遣時間数の差は大きいものであった。今後は、ICT機器の活用が思うように進んでいない学校に対する新たなサポートも検討しなければならないと思われる。
	実績(時間)			3,955	
	達成率(%)			101.4%	
指導教諭の技術向上のため、研修の実施	目標値(回)			40	導入済みの学校に対する研修は概ね実施することができたが、指導教諭が他市へ異動することもあるため、継続して研修会を行わなければならないと思われる。
	実績(回)			46	
	達成率(%)			115.0%	
	目標値				
	実績				
	達成率(%)				

4 事務事業の評価

評価項目		評価	評価基準	評価に対するコメント
必要性	市が担うべき事業か	10	<input checked="" type="checkbox"/> 10 高い <input type="checkbox"/> 7 やや高い <input type="checkbox"/> 4 やや低い <input type="checkbox"/> 1 低い	情報教育の拡充及び推進のためには、学校へのICT機器の整備は必要不可欠である。
妥当性	活動手段は適正か	10	<input checked="" type="checkbox"/> 10 高い <input type="checkbox"/> 7 やや高い <input type="checkbox"/> 4 やや低い <input type="checkbox"/> 1 低い	他自治体の状況を見ても、支援員に依存しなければならない部分も多々あり、学校全体がICTを利用した授業に慣れるまではやむをえない。
効率性	手法が効率的か	10	<input checked="" type="checkbox"/> 10 高い <input type="checkbox"/> 7 やや高い <input type="checkbox"/> 4 やや低い <input type="checkbox"/> 1 低い	支援員はICT機器の操作に精通しているだけでなく、学校教育についても知識のある人材でなければならない。そのような人材を個別に雇用することを想定すると、一括して委託するのが最適である。
費用対効果	事業費、物件費、人件費を勘案してどうか	7	<input type="checkbox"/> 10 高い <input checked="" type="checkbox"/> 7 やや高い <input type="checkbox"/> 4 やや低い <input type="checkbox"/> 1 低い	支援員の労働時間をみると妥当である。
目標達成度	事業の成果は上がっているか	7	<input type="checkbox"/> 10 高い <input checked="" type="checkbox"/> 7 やや高い <input type="checkbox"/> 4 やや低い <input type="checkbox"/> 1 低い	公開授業等を見る限りでは、各人のレベルアップが顕著であり、全ての学校での整備後の状況も期待できる。
担当課評価結果		44	A (40点以上) : 継続事業 / B (39 ~ 30点) : 修正継続事業 C (29 ~ 20点) : 見直し事業 / D (19点以下) : 廃止事業	ランク A
課題・評価	タブレット端末や電子黒板等のICT機器を活用した教育がメディア等でも注目されている昨今、本市のICT教育環境整備としてのタブレット端末等整備事業が27年度に完了する。ハード面が整った後には、指導教諭はもとより児童生徒がタブレット端末を駆使して授業が進められるよう対応したいところであるが、指導教諭の異動等によりレベルアップした教員が他市へ異動した場合には、新たな指導等をする必要がある。支援員と同等のレベルに達するような教諭を育成するため、研修会等の機会を増やさなければならない。			
評価委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちが楽しんで授業が受けられるようなサポート体制に努められたい。 ・指導する教師、児童生徒への習熟度に差が出ないように支援してほしい。 ・定期異動による教師間の指導力を補うためにも短期集中的な研修や支援員の継続的な研修にも努められたい。 ・教師が支援員を生かせるような授業づくり（現制度：ICT活用アドバイザー派遣事業の充実）に努められたい。 			
今後の事業の方向性	<input type="checkbox"/> : 充実 <input checked="" type="checkbox"/> : 現状維持 <input type="checkbox"/> : 修正継続 <input type="checkbox"/> : 規模の縮小 <input type="checkbox"/> : 代替事業の検討 <input type="checkbox"/> : 他事業との統合 <input type="checkbox"/> : 業務委託 <input type="checkbox"/> : 廃止			

1 事務事業の基本的事項

			事業番号	3
事務事業名	那須与一伝承館管理運営事業	担当課・係	文化振興課	文化施設係
レインボープランの位置づけ	政策：1. 明日に伝える文化と学びのまちへ 施策：4. 文化・芸術活動の振興 施策の展開：14. 文化施設の充実と活用			
制度区分	□：補助（国・県） ■：市単独 □：その他			

2 事務事業の目的・内容

目的	①那須与一伝承館に関する資料の収集、保存、展示を行い、市民の教養を高め文化の振興に寄与する。 ②市民に文化活動の場を提供する。
対象者	一般市民
事業内容	①収蔵資料の調査研究および教育普及事業（特別企画展、テーマ展、歴史講演会）を実施する。 ②施設の維持管理および、貸館を行う。

事業費 (単位：千円)	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	項目					
	予算額 (決算ベース)	23,309	24,366	27,551	29,506	34,981
	決算額	24,065	23,841	27,486	29,389	

3 実施目標と実績

目標とする項目	区分	24年度	25年度	26年度	結果のコメント
年間の入館者の総数（人）	目標値	12,000	12,000	12,000	平成24年度から年間12,000人を保っている。その内、50%は県外の観光客であるため、今後は市内・県内の来場者を増やすため、魅力ある企画展を開催し、来館者を増やしていきたい。
	実績	12,093	12,662	12,015	
	達成率%	100.7	105.5	100.1	
企画展・歴史講演会の実施回数（回）	目標値	5	5	5	他館と比較しても、年間の企画展の回数は多い。今後は回数よりも、一回ごとの企画展の内容を充実させるようにしていきたいと考えている。
	実績	6	7	6	
	達成率%	120.0	140.0	120.0	
多目的ホール使用料の売上（円）	目標値	600,000	600,000	600,000	ホールを常時無料で使用している与一太鼓との調整を図り、出来る限り使用の空白の時間を減らして、積極的な貸出を行い、使用料収入を増やすようにしてきた。
	実績	900,740	865,860	982,660	
	達成率%	150.1	144.3	163.7	

4 事務事業の評価

評価項目		評価	評価基準	評価に対するコメント
必要性	市が担うべき事業か	10	<input checked="" type="checkbox"/> 10 高い <input type="checkbox"/> 7 やや高い <input type="checkbox"/> 4 やや低い <input type="checkbox"/> 1 低い	当市の歴史分野の中核を担う施設であり、市が直営で行う必要のある事業である。また歴史部門だけでなく、美術工芸や伝統文化など、地域社会における文化振興政策を推進してゆく上で、拠点となる施設である。今後、より一層の施設・設備の充実、職員の増員を図る必要があると思料する。
妥当性	活動手段は適正か	10	<input checked="" type="checkbox"/> 10 高い <input type="checkbox"/> 7 やや高い <input type="checkbox"/> 4 やや低い <input type="checkbox"/> 1 低い	限られた人員・予算の中で、年5回以上にも及ぶ企画展、講演会、イベントを実施してきた。今後、内容の充実を図ってゆくためにも、企画展に関わる予算の充実、館の職員の増員を図る必要がある。
効率性	手法が効率的か	10	<input checked="" type="checkbox"/> 10 高い <input type="checkbox"/> 7 やや高い <input type="checkbox"/> 4 やや低い <input type="checkbox"/> 1 低い	企画展の内容の充実を図ってきた。ギャラリートークや講演会など、新規の来館者を発掘する事業を積極的に行ってきた。
費用対効果	事業費、物件費、人件費を勘案してどうか	7	<input type="checkbox"/> 10 高い <input checked="" type="checkbox"/> 7 やや高い <input type="checkbox"/> 4 やや低い <input type="checkbox"/> 1 低い	限られた事業費の中で、経費の節減に取り組んでいる。また企画展の広告についても、無料の雑誌等の広告、インターネットの掲示などを利用し、経費の節減に取り組んできた。
目標達成度	事業の成果は上がっているか	10	<input checked="" type="checkbox"/> 10 高い <input type="checkbox"/> 7 やや高い <input type="checkbox"/> 4 やや低い <input type="checkbox"/> 1 低い	近年、来館者数もほぼ12000人で安定し、個別の講演会などの事業についても参加者が100名前後と好評である。今後も現状に満足せず、入館者数の増加と企画展、事業の充実に努めていきたいと思料する。
担当課評価結果		47	A (40点以上) : 継続事業 / B (39~30点) : 修正継続事業 C (29~20点) : 見直し事業 / D (19点以下) : 廃止事業	ランク A
課題・評価	<p>入館者数も年間12000人程度で安定してきた。企画展も年間5回以上開催しており、他館と比較しても事業数は多い。今後は企画展の内容の充実を図り、さらなる来館者の掘り起こしを図り、一層の入館者増を図ってゆく必要がある。また社会教育施設として、市内外の小・中学校の児童・生徒が地域学習を行ってゆく際の拠点施設として、わかりやすい展示、図録や解説書の作成などを進めてゆきたいと考えている。</p>			
評価委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科見学など施設の利用促進や学芸員など人材活用の方法について周知・PR等に努められたい。 ・小中学校と連携を図り、出前講座など教員とは違った知識や考え方に触れる機会を充実させてほしい。 ・ギャラリーの展示方法について竹芸品にこだわらず、目玉的な展示物を用意したり、各地域で所蔵しているものなど人を惹きつけるような工夫を検討してほしい。 			
今後の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 修正継続 <input type="checkbox"/> 規模の縮小 <input type="checkbox"/> 代替事業の検討 <input type="checkbox"/> 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 廃止			

1 事務事業の基本的事項

事務事業の基本的事項			事業番号	4
事務事業名	美原公園管理事業	担当課・係	スポーツ振興課管理係	
レインボープランの位置づけ	政策：1. 明日に伝える文化と学びのまちへ 施策：5. スポーツ・レクリエーションの振興 施策の展開：18. スポーツ施設の整備と活用			
制度区分	□：補助（国・県） ■：市単独 □：その他			

2 事務事業の目的・内容

目的	美原公園内のスポーツ施設を適正に管理し、スポーツの普及振興及び利用率アップを図る。						
対象者	美原公園の利用者						
事業内容	陸上競技場、野球場、第2球場、テニスコート、水泳プール、相撲場等の維持管理						
事業費 (単位：千円)	年度 項目	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
	予算額 (決算ベース)	160,806	133,820	39,011	44,139	35,791	
	決算額	87,796	130,825	38,333	43,884		

3 実施目標と実績

目標とする項目	区分	24年度	25年度	26年度	結果のコメント
野球場等利用者の増加	目標値	31,600	38,700	47,300	グランドゴルフの団体が隣接する芝広場等へ利用施設を移行したことや比較的規模の大きな学童野球の大会が中止となったことが利用者減の要因である。 今後も野球場として安全に使用頂けるよう施設管理に努める。
	実績	35,225	43,051	36,740	
	達成率%	111.5%	111.2%	77.7%	
テニスコート利用者の増加	目標値	43,400	41,400	47,500	年間を通して多くの方に利用していただいている。 さらに、使いやすく安全な施設を目指し、適正な維持管理の推進を図った結果、利用者数は増加しつつある。
	実績	37,726	43,281	46,587	
	達成率%	86.9%	104.5%	98.1%	
陸上競技場利用者の増加	目標値	39,600	43,600	48,700	年間を通して多くの部活動で利用されている。 適正な維持管理はもとより、設備の充実にも努めた結果、利用者数は増加している。
	実績	39,742	44,401	57,085	
	達成率%	100.4%	101.8%	117.2%	

4 事務事業の評価

評価項目		評価	評価基準	評価に対するコメント
必要性	市が担うべき事業か	10	<input checked="" type="checkbox"/> 10 高い <input type="checkbox"/> 7 やや高い <input type="checkbox"/> 4 やや低い <input type="checkbox"/> 1 低い	<p>市民へスポーツを普及推進するに当たり、身近で手軽に利用できる公共施設の整備は大変重要であると考えている。</p> <p>また、施設を有効活用し、町おこしなど地域の活性化の拠点としての利用が考えられる。</p>
妥当性	活動手段は適正か	10	<input checked="" type="checkbox"/> 10 高い <input type="checkbox"/> 7 やや高い <input type="checkbox"/> 4 やや低い <input type="checkbox"/> 1 低い	<p>美原公園は都市公園となっているため、施設整備及び施設管理を市と教育委員会が連携を図り行っている。</p>
効率性	手法が効率的か	10	<input checked="" type="checkbox"/> 10 高い <input type="checkbox"/> 7 やや高い <input type="checkbox"/> 4 やや低い <input type="checkbox"/> 1 低い	<p>危険が伴う高所作業や専門知識を有する管理業務である公園内の枝木の伐採や剪定、芝の管理等については民間業者に委託し、効率的に管理を行っている。</p>
費用対効果	事業費、物件費、人件費を勘案してどうか	10	<input checked="" type="checkbox"/> 10 高い <input type="checkbox"/> 7 やや高い <input type="checkbox"/> 4 やや低い <input type="checkbox"/> 1 低い	<p>美原公園のスポーツ施設の充実を図ることにより、市民一人1スポーツの実現、健康増進の一助に役立っていることを確信している。</p>
目標達成度	事業の成果は上がっているか	10	<input checked="" type="checkbox"/> 10 高い <input type="checkbox"/> 7 やや高い <input type="checkbox"/> 4 やや低い <input type="checkbox"/> 1 低い	<p>多くの施設が利用率が向上しており、成果を確認している。</p> <p>また、施設整備により大規模大会を誘致でき、経済効果も生まれている。</p>
担当課評価結果		50	A (40点以上) : 継続事業 / B (30 ~ 39点) : 修正継続事業 C (20 ~ 29点) : 見直し事業 / D (19点以下) : 廃止事業	ランク A
課題・評価	<p>陸上競技場は、平成24年度に日本陸上競技連盟の第3種公認を更新し、小学生から一般にわたり年間15日程度の競技大会を開催している。また日頃は県北地区の部活動の拠点として大勢の方に利用いただいております。大きな役割を担っている。</p> <p>施設の整備では、平成24年度に野球場脇に東駐車場を整備、また野球場の防球ネット設置を完了し施設の充実を図ったところであり、日本女子ソフトボールリーグなどハイレベルな大会を誘致することに繋がっている。</p> <p>今後も適宜施設の整備・充実を図りながら、利用者の利便性の向上と利用者の増加を促進していきたい。</p>			
評価委員意見	<ul style="list-style-type: none"> 施設を利用する市民にとってわかりやすい表示や興味を引き付けるような工夫に努められたい。 交通公園跡地に一輪車やストライダーのコースを設定するなどして有効利用を図られたい。 新たな駐車場整備は予算や空地の確保など困難な面もあるので、公園周辺施設の有効活用など検討されたい。 野球場の利用促進については、市体育協会とも連携した野球教室の実施や冬季における野球以外への施設開放など従来の考え方に縛られない方法も検討されたい。 			
今後の事業の方向性	<input type="checkbox"/> : 充実 <input checked="" type="checkbox"/> : 現状維持 <input type="checkbox"/> : 修正継続 <input type="checkbox"/> : 規模の縮小 <input type="checkbox"/> : 代替事業の検討 <input type="checkbox"/> : 他事業との統合 <input type="checkbox"/> : 業務委託 <input type="checkbox"/> : 廃止			